



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第三二四号

2021.3.24

責任者
市川 麻美

あれから一年、 そして〜

令和三年三月十日、令和二年度第七十四回卒業式が無事挙行されました。来賓をお迎えすることはできませんでしたが、天候に恵まれ、暖かい門出の日となりました。



今年の三年生は、昨年度の終わりに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な対応と制限の中での学校生活を余儀なくされました。

修学旅行・運動会はまず延期となりました。学習活動発表会は保護者の皆さまにはご不便をかけたかもしれませんが、なんとか

行うことができました。修学旅行は最終的に、再度の緊急事態宣言発令により、代替旅行もできませんでしたが、運動会は形を変え、学年を越えたチーム編成でのスポーツ交流会となりました。

そのような中でも、今年の三年生は、見事に自分たちができることを（不平不満もあつたでしょうが…）やり遂げていました。本当に頭が下がります。立派な姿でした。



今年度は、いつも通りにできないことがたくさんあつたわけですが、その反面、どんな状況でもできること（楽しめること）もたくさん見つけられたはずで、できるのだからあきらめるのではなく、ピンチをチャンスに、新しい発見・考え方で一歩でも半歩でも着実に前へと進めることができましたはず。



これからも、まだまだ先は読めません。感染症以外にも生徒の皆さんの前に、さらなる困難が立ちまはるかもしれない。しかしそんな時は、今年度のことをよく思い出し、出してください。きつと乗り越えられるはずです。

昨年度三月に休校となつてから今日まで、本当に皆よく頑張りました。この一年を乗り越えた自分に自信を持って、これからも進んでください。

一、二年生は、三年生を見送ることはできませんでしたが、三年生の勇姿はこれまでしっかりと見ていたはずで、式に参加できないので、三年生の合唱を聴かせてもらいましたね。その姿に感動した人も多かつたと聞いています。どうか三年生の頑張っていた姿を忘れずに、真中の伝統を引き継いでください。見えないバトンを皆さんは引き継いだのです。皆さんならきつとできます。一緒に頑張りましょう。よろしくお願います。

学校関係者評価

学校教育法施行規則に基づき、学校関係者評価委員会より、本校の教育活動その他の学校運営の状況についての評価をいただきました。

○一人ひとりをよく見てもらえていると思う。

○（授業についてのアンケートにおいて）生徒の肯定的回答が増加している。授業が分かる・楽しいと感じている生徒が多く、学習意欲につながっていると感じている。

○夏休みの図書館開放はとてもよかった。生徒が参加しやすい環境はありがたい。

などのご意見をいただきましたが、いろいろな生徒がいると思うが、遅い時間に外にいたりすることがあり、大丈夫だろうかという子がいるのが心配される。

●登校時の見守りの時に挨拶をしない中学生が増えたように思う。

●さまざまな関係機関と効果的な連携をして取り組んでいくことを期待する。

●ときどきホームページを拝見している。コロナのため学校の様子がなかなか分からないので、発信していただきありがたい。授業の様子だけでなく、部活動や他の生徒の部分を紹介してほしい。

などのご意見もいただきました。生徒とともに、保護者をはじめ地域のさまざまな見守りや支えをいただきながら学校が成り立っていることを改めて捉えたいので、学習指導要領にある「一人ひとりの生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」よう努めてまいります。



三年生から バトンを受け取って…

二年

私たち二年学年委員は、三学期や一年間の反省を生かし、三年生としての新しいスタートにつなげていこうと思いい、みんなにアンケートに答えてもらいました。

「新しい生活様式について」

毎朝、健康観察カードを提出できなかったという問いには、できていない人が一人もいなく、提出することが習慣になっていることが分かりました。同様にマスクの着用もよくできていました。しかし、登校時の手洗いやハンカチの持参は、しっかりとできていないとできていない人に差がありました。自分のものを自己管理できたかという問いには、大半の人が大変よくできたと答えていて、良かったと思います。

「一年間の振り返りと令和三年度の抱負について」

一年間の振り返りでは、個人としてあいさつや気配りなどといった人との関わり方につ



いてや、勉強や部活動についてのことが多くできてきました。学年全体としては、二年生として後輩を支えたり仲間意識が強くなったという意見が多くありました。令和三年度の抱負では、「勉強や部活動がんばる」「全校を引っ張る」「後輩の目本になる」「悔いの残らない生活をする」「授業中に発言やリアクションを増やす」といった具体的なものが数多く出てきました。

二年生全体として、一人ひとりが今まで以上に深く考えられるように成長できたと思います。また、次は三年生として、どうしていくべきなのか、みんなそれぞれにしっかりと考えています。

この一年間で学んだことを生かして、全校をリードすることができ三年生になりたいと思います。

開花宣言

真鶴中ホームページの「まなちゅうNow!」ご覧いただけていますでしょうか? 機器のトラブルにより、更新できない時期が長くあったりしましたが、できるだけ更新し、わずかではあります、学校の様子をご覧いただければと思います。

三月に入り、日ごとにグラウンドの桜のつぼみも膨らみ、東京の開花宣言からおくれること四日。真鶴中

も桜の開花宣言を三月十八日(木)に「まなちゅうNow!」で行いました。

真鶴中のグラウンドには、体育館横と鉄棒付近に桜の木があります。どちらかというと、鉄棒付近の桜の方が、はやくつぼみが膨らみ始めていたのですが、どちらも同じタイミングで花を咲かせ始めました。さらに日ごとに花が増えてきています。



校内には桜だけでなく、いろいろな花が春の到来を告げています。校舎の裏側にある学校園では、美術部が丁寧に世話をし、きれいに花を咲かせてくれました。昇降口のプランターの花々も元気に花を咲かせ続けています。昨年の十一月にPTAの花植えボランティアとして、植えていただいた

以来、環境委員会の生徒やスクールサポートスタッフの古谷さんが欠かさず水やりをして育ててくれました。どの花もできるだけ長く愛でていたいものですね。

